

2026年4月30日

各位

上場会社名 日本製罐株式会社
 代表者 代表取締役社長 西尾 文隆
 (コード：5905、東証スタンダード)
 問合せ先責任者 執行役員経理部長 田中 修二
 (TEL. 048-665-1257)

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2025年12月23日に公表いたしました2026年3月期の業績予想値と本日公表の実績値との差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績の差異

(1) 2026年3月期通期連結業績予想と実績の差異 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,259	△318	△279	△267	△198.31
今回発表実績 (B)	11,442	△307	△283	△346	△257.12
増減額 (B - A)	△817	11	△4	△79	
増減率 (%)	△6.7	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	11,259	△540	△476	△335	△249.91

(2) 2026年3月期通期個別業績予想と実績の差異 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,859	△349	△288	△213.91
今回発表実績 (B)	5,707	△355	△381	△282.70
増減額 (B - A)	△152	△6	△93	
増減率 (%)	△2.6	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	5,606	△528	△317	△236.78

2. 差異の理由

(1) 連結業績

当年度の実績値は経常利益までは前回（2025年12月23日）公表した業績予想並みとなりました。特別損失に固定資産の除却損、減損損失、工場閉鎖損失を計上したこと、および、法人税及び税効果会計の確定により親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想値を下回る結果となりました。

(2) 個別業績

上記、連結業績に記載の通り当期純利益が前回予想値を下回りました。

以上